

歯科材料 9 歯科用研削材料
一般医療機器 歯科用研磨器材 70907000

松風ラッピングペースト

【禁忌・禁止】

本材又は本材に使用している成分に対し、発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

[成分] 研磨砥粒、グリセリン、PVA、CMC、その他
[種類]

種類	研磨砥粒	色調	性状
粗粒	WA F100	白	ペースト
中粒	AE #320	茶	
細粒	WA #600	白	

【使用目的又は効果】

義歯の咬合面削合及び咬合調整に用いる。

【使用方法等】

[使用方法]

- 1) 口外法（咬合器上）の場合
 - ① 選択削合を行った後、下顎前歯の切端や臼歯の咬合面に本材を薄く塗布します。
 - ② 通法に従い、側方運動と前方運動を繰り返して削合を行います。
 - ③ 途中で適宜水洗して咬合面の観察をしながら削合を進めます。
 - ④ 粗粒を陶歯に使用する場合は、削合面が荒くなりやすいので、軽く削合してから中粒を用います。
 - ⑤ 削合完了後は、咬合面の溝、窩及び辺縁隆線、隅角部等を調整します。最終研磨はシリコンポイントで仕上げます。
- 2) 口腔内の場合（中粒及び細粒を使用）
 - ① 選択削合が完了した後、総義歯の歯面を清掃し、下顎前歯の切端や臼歯の咬合面に本材を薄く塗布します。
 - ② 義歯を両手で保持して咬合し、軽く圧接しながら擦りあわせて1～2mmの範囲で側方運動と前方運動を繰り返し、これを患者に見せて理解させます。
 - ③ 上下義歯を口腔内に装着し、軽い咬合圧下で側方運動と前方運動を繰り返させます。
 - ④ 唾液が溜まれば吐き出させ、本材を補充します。
 - ⑤ 取り出した義歯を十分に清掃した後、咬合面を観察して削合面の状態を確認します。
 - ⑥ 再び口腔内に装着し、咬合接触感を聴取して満足度を確かめます。
 - ⑦ 自動削合完了後は周縁部の仕上げを行います。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) 本材は、必ず選択削合を入念に行った後の仕上げ段階において使用すること。
- 2) 局部義歯の場合は、残存する対合歯を損傷しないように注意すること。
- 3) 保管中に研磨砥粒が分離した場合は、よく混合してから使用すること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 1) 本材の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着した場合はすぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本材は、直射日光を避け、室温（1～30℃）で保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号 075-561-1112